



学校だより 6月

令和4年5月31日 横浜市立芹が谷南小学校

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/serigayaminami/>

共に創る、芹が谷南小学校 共に育む、せりなんの子どもたち

副校長 柴 諭

5月27日(金)は、強い雨と風の中での登校となりました。入学からまだ2ヶ月の1年生は、ようやく学校に慣れてきたばかりの頃ですし、子どもたちの登校の様子が気になった私は、通学路に向かってみました。そこでは、悪天候にも関わらず多くの学援隊の方々が子どもたちの安全を見守ってくださっていました。



その日の午後、3年ぶりに対面での開催となった学校説明会・PTA総会にも、多くの保護者の方に参加していただきました。(当日欠席された保護者の皆様には月曜日に資料をお渡ししております。ご確認ください。)

その、学校説明会の場で繰り返しお伝えさせていただいたことが「学校と、家庭と、地域と、共に創る 子どもたち一人ひとりが生き生きと学ぶ芹が谷南小学校」という本校の教育活動の重点としての考え方です。これからの時代を生き抜いていく子どもたちにとって必要な資質・能力は学校“だけ”で育むことはできません。子どもたちは、いつでも、どこでも学び、育っていきます。私たち、学校・家庭・地域はそのすべてが、子どもたちにとっての学びの大切な環境となります。学校でも、①生きて働く知 ②豊かな心 ③健やかな体 ④自分づくり教育 への取り組みを中心に、全職員で子どもたちにかかわり、教育活動に取り組んでまいります。



この6月には、地域子どもの安全対策協議会(スクールゾーン等)や学校運営協議会も予定されています。町内会・自治会やPTA、読み聞かせ・装飾ボランティアや学援隊等、多くの保護者や地域の方のご理解とご協力を今までもいただいているところです。同じく、学校医さんによる検診も6月末まで予定されていますし、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーによる相談の体制も整っています。日頃のご理解とご協力に心から感謝申し上げます。

そして、“関わる全ての人たち”で共に創る芹が谷南小学校と、共に育む子どもたちです。今後とも、それぞれのお立場で、できることへのお取り組みをいただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。